

主の祈りを中心とした山上の説教の構造					
導入	5:3-16 天の御国はあなたがたのもの		5:1 イエスはその群衆を見て山に登られた 5:2-12 義に飢え渴くは幸いです。天の御国はあなたがたのものだから 5:13-16 あなたがたは地の塩、世の光 よい行いを見て、 あなたがたの天の父 を あがめるようになるため	天の父 15回	
	律法と預言者とは何か	聖書を成就 = 正しく解釈するイエス	5:17-20 17 律法と預言者を成就するために 来た あなたがたの義が 律法学者やパリサイ人の義 にまさっていないければ天の御国に入れない		天の御国は子どもたちのもの (19:14) 義とされた取税人 (ルカ18:9-14)
I	5:17-48 天の父のように愛する	パリサイ人の義 = 律法を守る それにまさる義 = 人を愛する 外面から内面へ	5:21-32 「殺すな」と言われている しかし、わたしはあなたがたに言います。 怒ってはならない、和解しなさい 「姦淫するな」と言われている しかし、情欲を抱いて見るな 「離婚状を与えよ」と言われている しかし、離婚してはならない	地の塩、世の光として生きる。人にしてもらいたいことを人にもしなさい	兄弟との和解 パートナーへの誠実さ 結婚を尊ぶ ヘブル13:4、マタイ19:3-10
			5:33-48 「誓いを果たせ」と言われている しかし、誓ってはいけない 「目に目を」と言われている しかし、悪いものに手向かうな 「敵を憎め」と言われている しかし、敵を愛し、祈れ あなたがたの天の父 のように完全であれ		隣人を (敵をも) 自分のように愛しなさい 神と人への誠実さ 悪人や敵を愛する
II	6:1-18 天の父の報い	パリサイ人の義 = 人に見せる偽善、自分の報い それにまさる義 = 隠れた所で行う、天の父の報い	6:1-4 「施し」 人に知られるな	=	主の祈りは山上の説教の中心
			6:5-15 「祈り」人に聞かせるな(父は知っている) 主の祈り 天にいます私たちの父よ 御名があがめられますように 御国がきますように みこころが天でおこなわれるように 地でも行われますように 日ごとの糧をお与えください 負い目をお赦してください (赦して欲しいなら人を赦す)		
III	6:19-7:11 天の父に信頼する	パリサイ人の義 = 富に頼る それにまさる義 = 天の父に信頼する	6:16-18 「断食」 人に見られるな	=	父のように人に良いものを与える
			6:19-34 天に宝を積み 富に仕えるな 何を食べようか心配するな あなたがたの天の父 は知っておられる		
結論	これが律法と預言者である		7:1-11 さばくな、偽善者になるな あなたがたの父 は子供たちに良いものを与える	=	22:36-40 神を愛し隣人を自分のように愛せ、 律法と預言者 はこの2つにかかっている
	7:13-27 天の国に入る者	7:12 ですから「 人にしてもらいたいことを人にしなさい 」(黄金律) これが律法と預言者です	狭い門と広い門 (見出しなさし) 良い実と悪い実 (見分けるなさい) 天の父のみこころを行う者 が天の国に入る わたしのことばを聞いて行う者は岩の上に家を建てる		
			8:1 イエスが山から降りて来られると、多くの群衆がイエスに促った。		